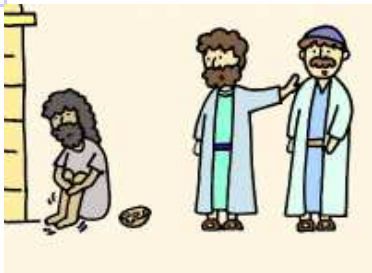
メッセージアウトライン

日付	2019年8月4日
単元	使徒の働き・1
テーマ	イエスの御名によるいやし
タイトル	イエスの御名によって
テキスト	使徒3:1～10
参照箇所	使徒3:11～10、5:15～16
暗唱聖句	使徒3:6 「金銀は私にはない・・・歩きなさい。」

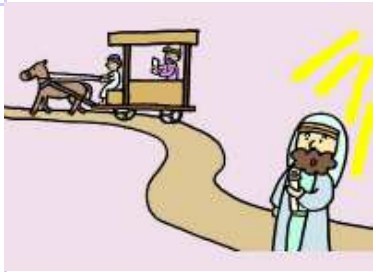
導入	みんなが持っているものの中で、いちばん価値のあるものは何だろう？お金かな？ゲーム機かな？あなたの命かな？
Ⅰ	**弟子たちは、足の不自由な人に目を留めました（1－4節）** A. ペテロとヨハネは、お祈りをするために宮に上って行きました B. 宮の門のところで、足の不自由な男の人がお金や食べ物を求めていました C. ペテロとヨハネは、困っているこの人に目を留めました
Ⅱ	**イエスさまの御名によって、男の人の足はいやされました（5ー7節）** A. 男の人は、何か（お金や食べ物など）をもらえると思いました B. ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい。」と言って、男の人を立たせました C. イエスさまの御名には、病気をいやす力があるのです
Ⅲ	**イエスさまの御名は、ほめたたえられました（8－10節）** A. いやされた男の人は、歩いたり、はねたりしながら、神を賛美しつつ、宮にはいって行きました B. 人々はこの男の人がいやされたのを見て、非常におどろきました C. イエスさまの御名によっていやされたので、（弟子たちではなく）イエスさまのすばらしさがほめたたえられました
結論	**イエスさまの御名で祈るとき、イエスさまは、弟子（わたし）たちを通してすばらしいことをしてくださいます**
適用	自分の持っているどんなモノよりも、イエスさまのお名前を大事にしましょう。イエスさまのお名前を通してお祈りする時、神さまが必ず聞いて下さっていることを信じましょう。わたしたちの祈りのことばにではなく、イエスさまのお名前にチカラがあるのです。イエスさまがすばらしいことをしてくださるという信仰（期待）をもって何でもどんどん祈ろう！
備考	



メッセージアウトライン

日付	2019年8月11日
単元	使徒の働き・1
テーマ	御霊に導かれた伝道
タイトル	聖霊にみちびかれて伝道したピリポ
テキスト	使徒8:26～40
参照箇所	イザヤ53章、使徒8:4～25
暗唱聖句	ローマ10:15

導入	いよいよ、イスラエルの国境を越えて、福音が外国に伝えられていきます。聖霊さまはどんな方法で外国にみことばを伝えたのかな？電話したのかな？それとも手紙？
Ⅰ	**ピリポは聖霊に導かれて、エチオピヤの宦官に出会いました** A. 御使いが、サマリヤで伝道していたピリポに、「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」と言いました B. ピリポがエチオピヤの宦官を見つけると、聖霊さまはピリポに「近寄って、あの馬車といっしょに行きなさい。」と言われました C. 昔のユダヤ人は、外国の人が救われるとは思っていませんでしたが、聖霊さまはピリポを外国人に伝道するように導いたのです



Ⅱ	**ピリポは、聖書のみことばから、宦官にイエスさまのことを伝えました** A. エチオピヤの宦官はイザヤ書を読んでいました B. ピリポは「あなたは、読んでいることが、わかりますか。」と言ったので、宦官は「聖書のことを教えてほしい」とたのみました C. ピリポは聖書のみことばから、イエスさまのことを伝えました

Ⅲ	**聖霊さまがピリポを通して働かれ、いよいよ外国人に救いが広がりました** A. 宦官はイエスさまを信じ、洗礼を受けたいと言ったので、ピリポは宦官にバプテスマを授けました B. 主の霊がピリポを連れ去られ、宦官は喜びながら帰って行きました C. こうして福音は、ユダヤ人だけでなく、外国の人にも広がっていきました

結論	**聖霊さまがピリポを導かれ、福音が外国の人にも伝わっていきました**
適用	イエスは、あなたにも誰かに福音を伝えて欲しいと願っておられます。ピリポが伝えなかったら、このひとは信じなかったし、外国に福音は広がりませんでした。しかし聖霊がピリポを遣わさなかったら、ピリポはこの外国人に伝道しなかったでしょう。聖霊さまがだれに伝えればいいのか、いつ伝えればいいのか教え導いてくださいます。あなたも、聖霊さまの導きを聞き、従っていきましょう。導かれ方は色々で、祈りの中で示される場合もあれば、困っている人の必要を見せてくださる場合もあります。また、人に伝えるために聖書をよく学んでおきましょう。
備考	

メッセージアウトライン

日付	2019年8月18日
単元	使徒の働き・1
テーマ	全人類の救い
タイトル	すべての人の主
テキスト	使徒10章
参照箇所	使徒11:1～18
暗唱聖句	使徒10:36

導入	世界には色々な人種があるのを知っていますか？黒人や白人もいれば、電気も車もない山奥に住んでいる民族や、教会も聖書もない小さな小さな島で暮らす人もいます。イエスさまに愛されているのはだれでしょうか？
Ⅰ	**神さまが御使いをとおして、コルネリオに語られました（1－8節）** A. コルネリオは、外国（ローマ）人でしたが、まことの神さまを礼拝する正しい人でした B. 神さまが、コルネリオをペテロと会うように導かれました C. コルネリオは、家来をペテロのところへ送りました
Ⅱ	**神さまはペテロに幻を見せて、教えられました（9－29節）** A. ペテロはユダヤ人だけが救われると思い、その他の人は汚れていると思っていました B. 神さまはペテロに幻を見せて、神様がきよめたものを汚れているといってはならない、と教えられました C. ペテロは、迷いましたが、神さまの言うとおりコルネリオのところへ行きました
Ⅲ	**ペテロは神様の救いの計画がはっきりわかりました（30－48節）** A. ペテロは、普通では話さない異邦人（外国人）コルネリオと話しました B. ペテロは、神様が全ての人をわけへだてなさらないお方だとわかりました C. ペテロが語っているうちにコルネリオたちに、聖霊が下り、彼らは洗礼を受けました
結論	**神さまは、イエスさまを信じる人は世界中のだれでも救われるということを、幻を通してペテロに教えて下さいました**
適用	イエスさまは、すべての人の主です。そして世界中のみんなを愛してくださっています。すばらしい救い主の御名をほめたたえましょう。イエスさまは、世界中にいるひとりひとりを愛してくださっているのです。まだイエスさまのことを聞いたことがない世界のおともだちのために祈ろう！あなたは、その人たちに福音を伝える人になりたいですか？世界中の困っている人をイエスさまの愛で助ける人になりたいですか？
備考	

メッセージアウトライン

日付	2019年8月25日
単元	使徒の働き・1
テーマ	サウロの回心
タイトル	サウロの回心
テキスト	使徒9:1～22
参照箇所	使徒7:54～8:4、13:9、22:3～16、26:9～18、Iコリント15:9～10、ガラテヤ1:11～24、Iテモテ1:13～16
暗唱聖句	IIコリント5:17

導入	あなたは、おともだちのことを「あんな悪いヤツは絶対に救われない」とか「あいつは意地悪だから教会にさそわない」と思ってしまったことはありませんか？
I	**サウロは、イエスさまを信じる人を激しく迫害する者でした** A. サウロは（旧約聖書の神さまを熱心に信じる人でしたが）、イエスさまがその神さまのひとり子だということに激しく反対していました B. ステパノを殺すことにも賛成して協力していました（7:58、8:1-3） C. さらに殺意に燃え、大祭司から、イエスさまを信じる人を見つけたらどんどん捕まえてもよろしいという許可をもらいました（1～2節）
II	**イエスさまが、サウロに直接語りかけられました（3－19節）** A. イエスさまがダマスコで「なぜ私を迫害するのか」と声をかけられ、サウロの目は見えなくなりました B. イエスさまは、サウロは福音を伝えるために選ばれた器だ、とアナニヤに言われました C. アナニヤが祈ると、サウロの目は見えるようになり、イエスさまを信じてバプテスマをうけました
III	**サウロは新しく変えられて、イエスさまのことを伝える人になりました（20－22節）** A. サウロはすぐに「イエスさまは神の子です」と伝え始めました B. サウロが以前と全く変わったのを見て、人々は驚きました C. サウロ（パウロ）は、世界に救いを広げるために用いられ、偉大な伝道者となりました
結論	**神さまは過去にどんなひどいことをした人も救ってくださり、イエスさまを証しする者として用いてくださいます**
適用	神さまは、どんなに悪い人でも悔い改めさせてくださいます。はじめから良い事のできる人だけを救うのではありありません。罪人を救って、新しく変え、用いてくださるのです。あなたも、救われて、福音を伝えるために用いられることを感謝しよう。また、「あんな悪いヤツは絶対に救われない」とか「あいつは意地悪だから教会にさそわない」とあなたが思ってしまう相手でも、イエスさまはその人を救い、つくりかえてくださることを信じよう。
備考	

メッセージアウトライン

日付	2019年9月1日
単元	使徒の働き・1
テーマ	海外宣教
タイトル	キプロス島での伝道
テキスト	使徒13:1-12
参照箇所	
暗唱聖句	マルコ16：15

導入	イエスさまはなに人か知っていますか？（先生は小さい時、日本人だと思っていたよ・笑）イスラエルの国に生まれたイエスさまのことを、僕たち日本人が知っているのは、伝えてくれた人がいるからです。今から約150年前にプロテスタントの宣教師が日本にやってきてイエスさまのことを伝えてくれたんだよ。教会は聖霊によって誕生してから、外国の人々にもイエスさまを宣べ伝え続けています。
Ⅰ	**教会は、バルナバとサウロを海外伝道につかわしました（1－3）** A. アンテオケ教会には、いろいろな身分、国の人がいました（1） B. 聖霊が、バルナバとサウロを神さまの働きにつかわすように言われました（2） C. 教会では、断食と祈りをして、2人に手を置いてから送り出しました（3）
Ⅱ	**バルナバとサウロは、キプロス島を巡回して神のことばを伝えました（4－7）** A. 2人は、聖霊につかわされてキプロス島へ向かいました（4） B. バルナバとサウロを助けるヨハネも一緒にいきました（5） C. 島には魔術師もいましたが、神のことばを聞きたいと思っている総督もいました（6－7）
Ⅲ	**神さまのことばと不思議なわざで、イエスさまを信じる人がおこりました（8－12）** A. 魔術師エルマという人が、2人に反対して伝道の邪魔をしました（8） B. サウロが聖霊に満たされて語ると、エルマの目が見えなくなりました（9－11） C. この出来事を見た総督は、主の教えに驚いて、イエスさまを信じるようになりました（12）
結論	**聖霊によって誕生した教会は、自分の教会だけではなく、外国でもイエスさまを信じる人がおこされるように祈り、聖霊によって人をつかわします**
適用	1）日本からつかわされている海外宣教師のために祈ろう。 ・働きを助ける人と神さまのことばを聞きたいと思う人が与えられるように祈ろう。 ・反対者やサタンの働きがあっても、聖霊のわざによってむしろイエスさまを信じるきっかけとなるように祈ろう。 2）日本にいる外国人のために祈ろう。 ・イエスさまを信じることができるように。 ・私たちに何か手助けできることがあったらさせてください。
備考	